

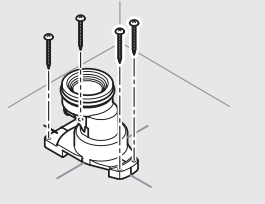
排水心 200mm | 排水心可変

3.排水部材

【排水心200mmの場合】と【排水心可変の場合】で施工方法が異なります。商品タイプをご確認のうえ、作業を進めてください。

排水心200mmの場合

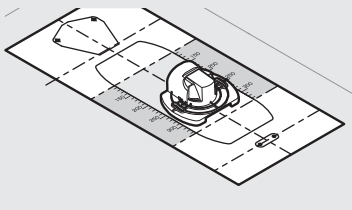
1 排水ソケットの取り付け



▶P.22

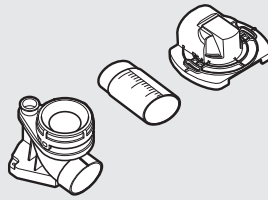
排水心可変の場合

1 床フランジ接続部の仮置き



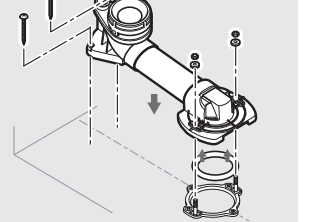
▶P.23

2 排水ソケットの組み立て



▶P.24

3 排水ソケットの取り付け



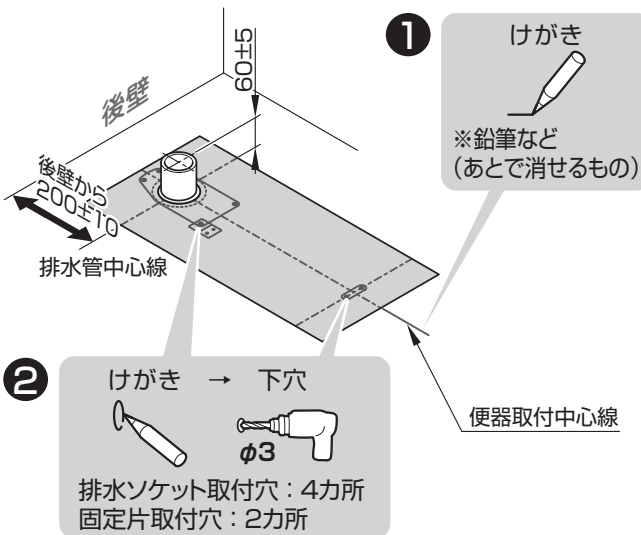
▶P.24

排水心200mmの場合

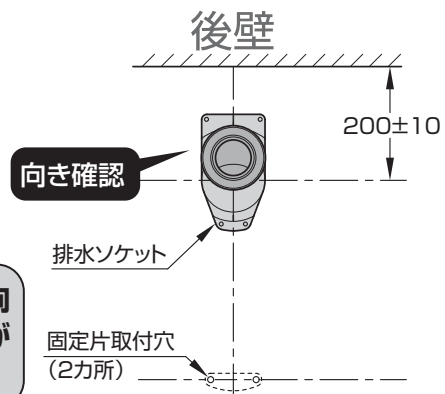
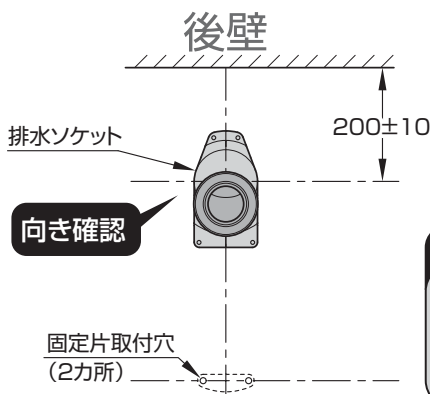
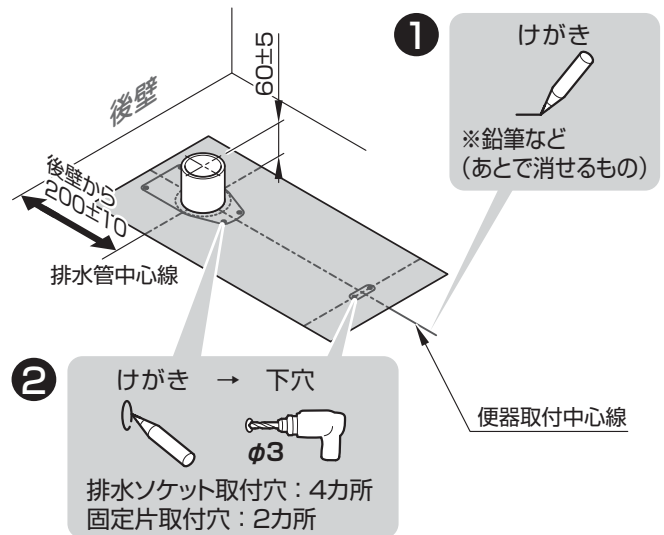
1 排水ソケットの取り付け

※位置決めシートの配置は図を参照ください。

まるごと収納タイプ/収納タイプ



スリム収納タイプ

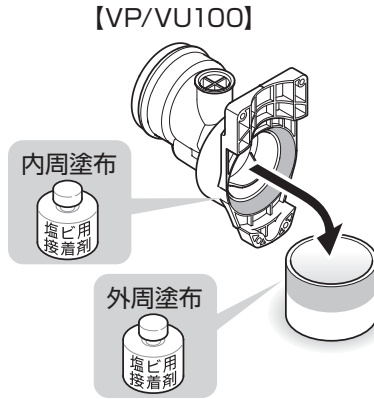
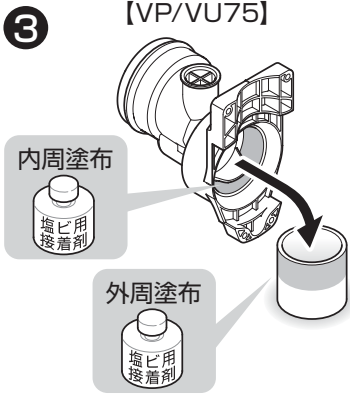


注意
排水ソケットを間違った方向に取り付けると、便器の施工ができなくなります。

3 排水部材

排水心200mmの場合

まるごと収納タイプ/収納タイプ/スリム収納タイプ 共通



⚠ 注意

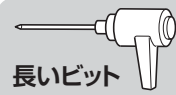
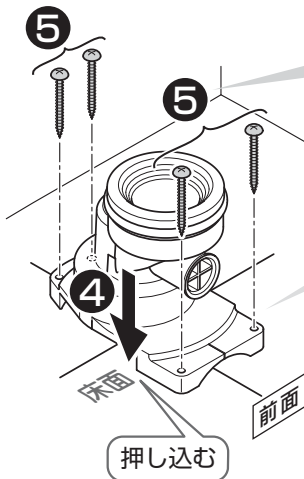


接着剤は必ず、排水ソケットと
排水管の両方の正しい位置に
塗布する

水漏れして家財などをぬらす財産損
害発生のおそれがあります。また、
臭気漏れの原因となります。

まるごと収納タイプ/収納タイプ

トラスタッピンねじ
φ5×50(4本)



・排水管の切断面のバリ、汚れは
必ず除去すること
・けがいた穴位置、中心線にあ
わせる

⚠ 注意

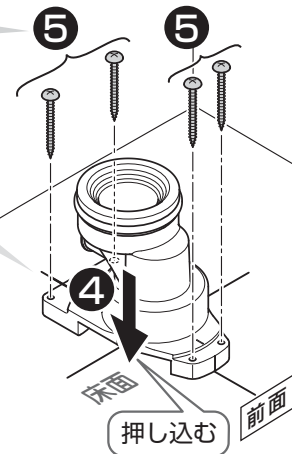


排水ソケットは下面が床面に
あたるまで押し込む

水漏れして家財などをぬらす財産損
害発生のおそれがあります。また、
臭気漏れの原因となります。

スリム収納タイプ

トラスタッピンねじ
φ5×50(4本)

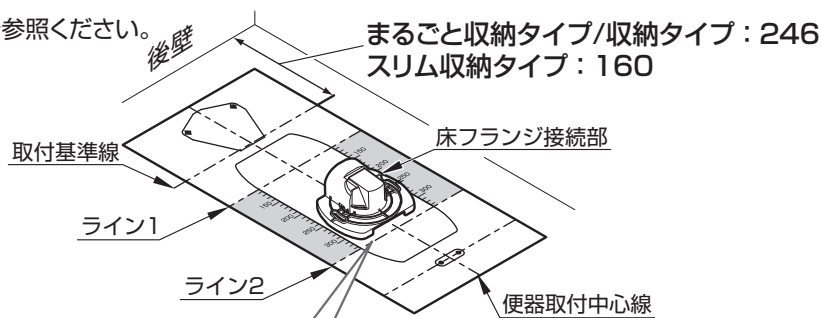


排水心可変の場合

1 床フランジ接続部の仮置き

① 既設の便器を外し、Pシールを取り除く

※位置決めシートの配置は図を参照ください。

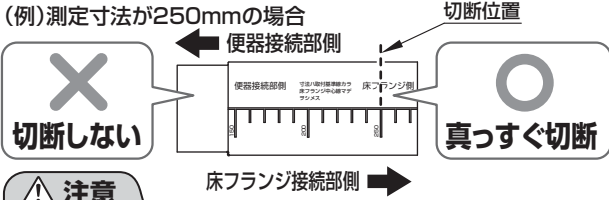
② 床フランジ接続部を
既設フランジの上に仮置き

排水心 200mm | 排水心可変

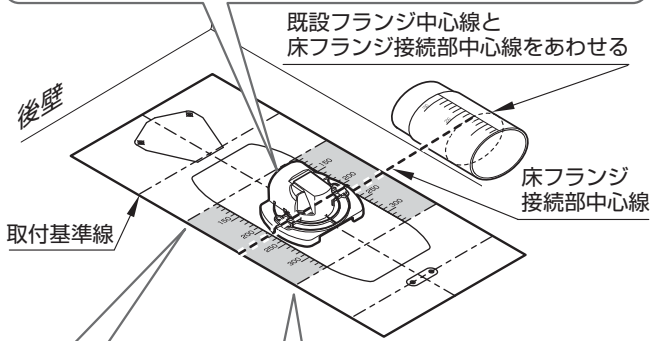
排水心可変の場合

2 排水ソケットの組み立て

① 同じ目盛り位置で横引管を真っすぐに切断する



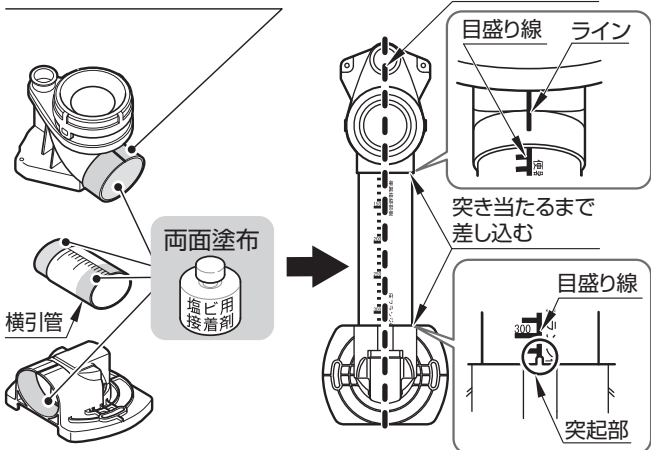
注意
 切断後、バリを取り除く
 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因になります。



【ライン1の場合】 横引管は不要
 【ライン2の場合】 横引管のカットは不要

② 排水ソケットの組み立て

【横引管を使用しない場合】
 この面にも塩ビ用接着剤を十分塗布する。

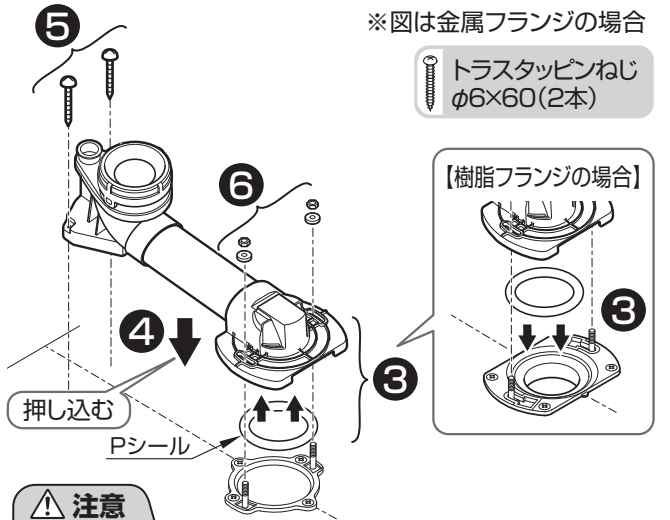
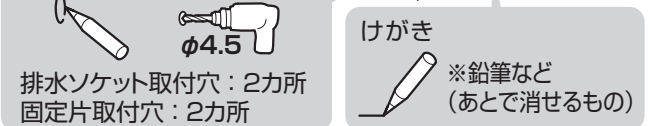
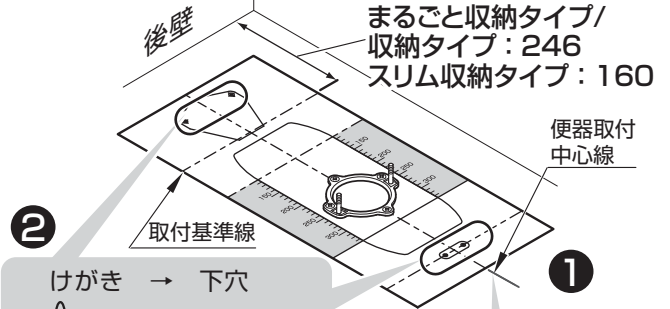


注意
 横引管は中心をあわせ、最後まできちんと押し込む
 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因になります。

必ず守る
 床面に対してガタツキがないように接着する
 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因になります。

3 排水ソケットの取り付け

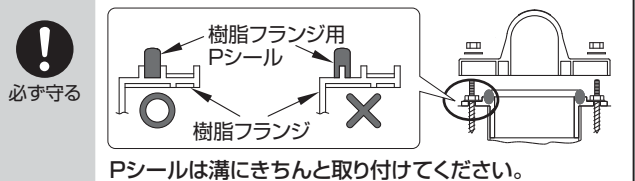
※位置決めシートの配置は図を参照ください。



注意
Pシール取り扱い上の注意
 ・既設の床フランジのタイプにあわせ、金属フランジ用Pシールまたは、樹脂フランジ用Pシールを使用する
 ・既設のフランジタイプによって、Pシールの取付方法が異なるので注意する

Pシールを間違えて取り付けたら、洗浄不良などの不具合や便器が詰まり、汚水があふれたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

(樹脂フランジ用)
 Pシールは必ずフランジ側にセットしてから、排水ソケットを上から押し付けてください。



Pシールは溝にきちんと取り付けてください。

(金属フランジ用)
 Pシールは必ず床フランジ接続部(排水アジャスター)にはめてから、フランジに押し付けてください。

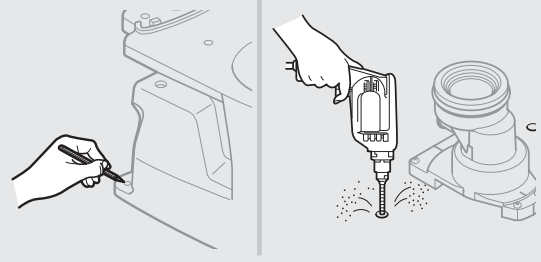
(床フランジ接続部裏面)
 ※図は金属フランジの場合
 Pシール

注意
 斜線内にはみ出させない

4.大便器

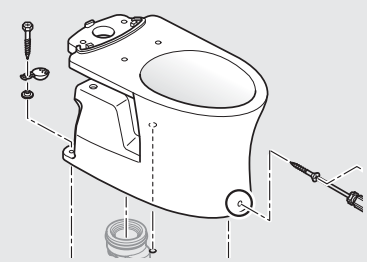
手順は排水心200mmのイラストで記載しています。

1 大便器固定の準備



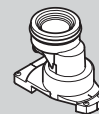
▶P.25

2 大便器の固定

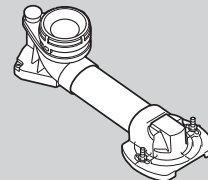


▶P.25

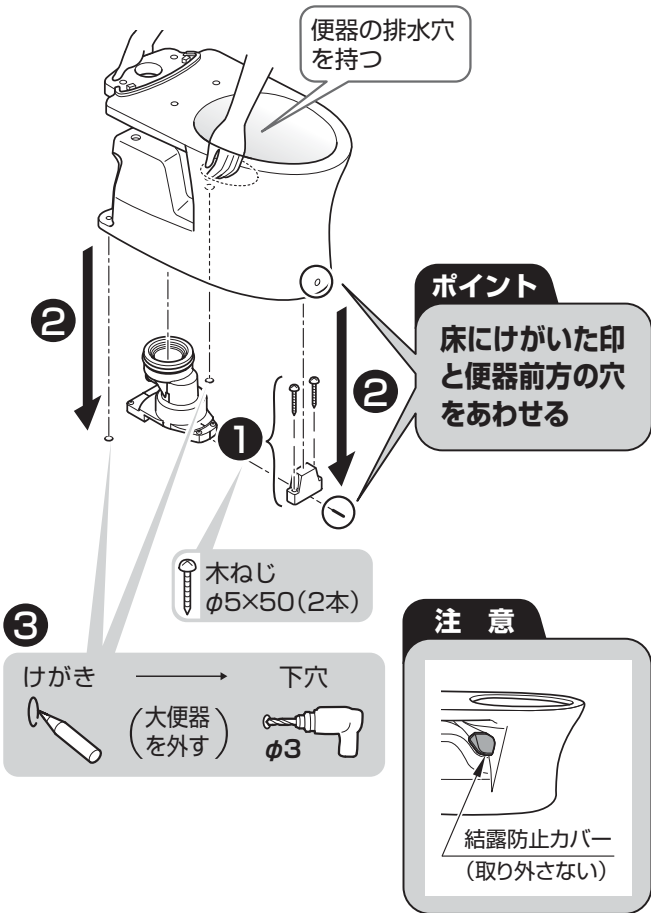
【排水心200mmの場合】



【排水心可変の場合】

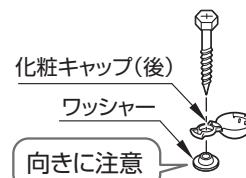


1 大便器固定の準備

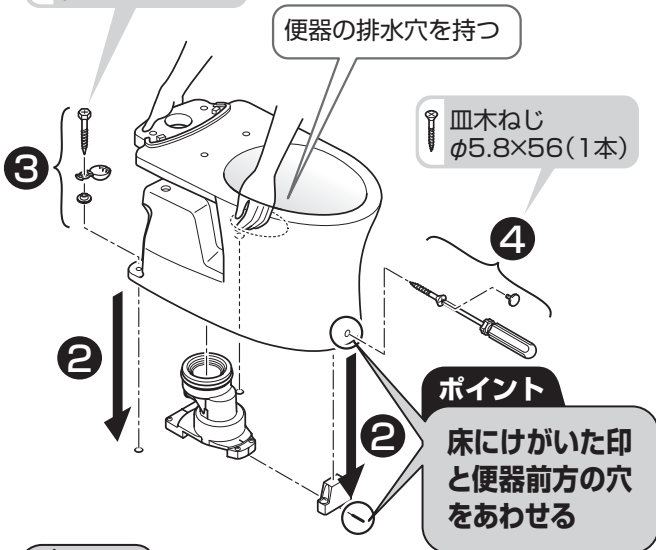


注意

締め過ぎて便器を割らないこと



木ねじ φ4.8×63 (2本)



注意

便器後部の固定を必ず先に行う



前側の固定を先に行うと便器が後方へスライドし、ゴムジョイント部から水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

必ず実行

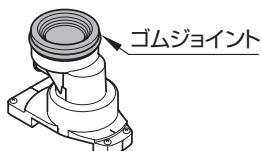
注意

最後の締め増しは、手締めにより行い、大便器を割らないように注意すること

2 大便器の固定

1 排水口、排水ソケットの接続部周辺の汚れ除去

(便器の後ろ図)



便器の排水口